

臨床研究「経胸壁心エコー検査に対する経食道心エコー検査での 3D 右室画像評価の有用性を検討する後ろ向き調査」について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、下記担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の目的

近年、右室機能は心臓疾患の予後を予測する重要な検査項目として注目されております。右室は複雑な形をしており、経胸壁心エコー検査での 3D 右室画像取得が右室計測に有用です。一方で、経胸壁心エコーは、肋骨や肺などのエコーを通さない構造に阻まれて右室画像の取得不良をしばしば来たり、計測値が過小評価されやすいという問題が存在しております。経食道心エコー検査は肋骨や肺などによる画像欠損が少なく、心臓全体の明瞭な画像取得が可能なことが見込まれますが、3D 画像による右室計測については少ない報告しかございません。本研究は、経胸壁心エコー検査に対する経食道心エコー検査での 3D 右室画像評価の有用性を検討することが目的となります。

2. 研究対象

2016 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の期間において、当院で経胸壁心エコー検査と経食道心エコー検査を同一日に行っている患者様が対象となります。

3. 研究期間

倫理審査委員会承認後～2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究機関名・研究者名

筑波大学 医学医療系 循環器内科

(研究責任者: 石津 智子 筑波大学 医学医療系 循環器内科 准教授)

5. 研究の方法

本研究の対象となる患者さんは、2016 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日の期間において、当院で経胸壁心エコー検査と経食道心エコー検査を同日に行っている患者様になります。対象患者さんの診療情報・検査所見を電子カルテから抽出し、そのデータをもとに解析を行います。従って本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません、また、データは匿名化することで個人情報情報は消去いたします。情報が外部に漏れないように厳重に管理、保管し、研究成果が公表される場合にも個人が特定されないよ

うに取り扱います。

通常の診療記録から得られる診療内容のみを使用する研究ですので、患者さま一人ずつの直接の同意は頂かずに、この掲示などによる患者さまへのお知らせをもって実施されます。

6. 試料・情報の項目

1. あなたの年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、身体所見、心エコー検査目的
2. 心電図、血液検査所見
3. 経胸壁心エコー検査、経食道心エコー検査の画像を解析して得た所見
4. 心臓 CT 検査もしくは心臓 MRI 検査を行っていた場合は、その画像を解析して得た所見

7. 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系 循環器内科 准教授 石津 智子

8. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、主治医に直接お申し出いただくか、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

9. 問い合わせ連絡先

筑波大学 医学医療系 循環器内科

大学院生 山田 優

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話番号:029-853-3143 (循環器内科医局、平日 10:00~17:00)